

## 文型の練習と定着のための活動

### — ネットショッピングの疑似体験と発表をとおして —

萩原 喜美子

科目名：総合日本語 2

レベル：初級 1・2 / 中級 3・4・5 / 上級 6・7・8

履修者数：16名

#### 1. 授業概要

総合日本語 2 は初級後半の学習者を対象とし、日本語の基本的な言葉と文法を学習してコミュニケーションできるようになることを目標に掲げている。授業は週 5 コマ（対面 3 コマ・オンデマンド 2 コマ：1 コマ 100 分）を 14 週かけて 2～3 名の教師が担当する。まず、オンデマンド 2 コマで『まるごと 日本のことばと文化 初級 2A2 りかい』に沿って当該課の語彙や文型を学び、語彙クイズや課題を提出する。その後、対面 3 コマでクイズや課題のフィードバック（以下、FB）を実施したうえで『まるごと 日本のことばと文化 初級 2A2 かつどう』（以下、教科書）に沿って語彙や文型の練習と定着のための活動を実施する。コースの指導内容やスケジュールはコーディネーターによって決められており、各担当者はクラスの状態に合わせて FB の方法や進度について適宜、調整することができる。本稿では、早稲田大学日本語教育研究センターで 2023 年度春学期に筆者が実施した対面授業での活動について紹介する。

#### 2. 活動の内容

教科書トピック 6「ネットショッピング」（L11・L12）の最後に、学習した文型の練習と定着を図ることをねらいとして、日本語版のショッピングサイトで買い物の疑似体験をし、その過程と結果を当該課の文型を使用して説明・発表させる活動をおこなった。所要時間は 25 分程度となるよう進めた。当該クラスでの工夫は、1) 疑似体験のために海外の衣料品・日用雑貨品メーカーの日本語版ショッピングサイトを使用したこと<sup>1)</sup>、2) 学生が日本語版申込用紙の仕様を知り、記入の体験ができるよう、用紙のコピーを配布したこと<sup>2)</sup>である。

活動の手順は、1) ペアでサイトを検索し、買う商品を決める、2) 申込用紙に記入する、3) 発表内容を決める、4) 教室のスクリーンに商品のページを投影して発表する、とした。発表内容は、①何を買うか、②どうして買うか、③その商品についてどう思うか、④2つの商品を比べてどう思うか（教科書 p11「もくひょう Can-do」L11・L12を援用）という質問①～④の中から 2～4つを選び、課の文型をできるだけ使用して商品を説明すること、とした。活動の手順と発表内容は板書して明示し、教師がまず一通り試行して見

せたうえで活動を開始した。

### 3. 学生の反応と今後の課題

発表は、作成した説明を前半と後半に分かれて発表するペア、対話形式にして発表するペアがほぼ半数ずつであった。質問①では学生本人が使用するためのズボン、トートバッグ、ハンモックの他、出産した友達への子供服、兄弟へのパーカー等の多彩な商品が挙げられ、学生達が短時間で様々な相手・用途を思い浮かべながら膨大な数の商品の中から日本語で欲しいものを見つけていたことがうかがえた。質問②では、「(トートバッグ)教科書やパソコンが重すぎて、今、使ってるのが切れてしまったんです。」「(ハンモック)毎日、とても忙しいですから、からだの調子が悪くなってしまったんです。夏休みはくいのビーチでリラックスしたいですから、これを買いました。」等、質問③では「このズボンは値段がたかすぎると思います。」等、質問④では「(トートバッグ)サイズは大のほうが大きくて使いやすそうです。ペットボトルとおにぎりも入れたいですから。」等、各自が現在の心情や状況をふまえながら文型を使用して商品を説明しようとする姿が見られた(下線は当該課の文型の使用箇所)。また、質疑応答は想定していなかったものの、興味深い商品について自発的に質問する学生もおり、その場でのやりとりも生じていた。

日本語版ネットショッピングの疑似体験で学生自らが商品を検索し決定したことは、その過程と結果を明確に伝えたいという意欲となり、活発な表現活動に繋がっていくことを実感した。今後の課題としては他課でも学生の主体的な選択・決定の機会を設定し、文型の練習・定着のための活動がより自律的になるように工夫を重ねていくことを挙げたい。

#### 注

- 1) クラス内で共有できる言語は英語であったため、当該ショッピングサイトは日本語版も商品名が英語・カタカナ併記で検索し易いこと、英語版もあり不明箇所は適宜、確認可能であることから紹介した。しかし、限定はせず、他のサイトでの検索も良しとした。
- 2) サイトの注文画面に仮入力させた場合、誤って送信し注文が成立する恐れもあるため申込用紙を使用することとした。

#### 参考文献

- 独立行政法人国際交流基金編著 (2021) 『まるごと 日本のことばと文化 初級 2A2 りかい』 三修社。
- 独立行政法人国際交流基金編著 (2022) 『まるごと 日本のことばと文化 初級 2A2 かつどう』 三修社。

(はぎわら きみこ, 早稲田大学日本語教育研究センター)